

第2次安芸高田市総合計画(第4回)審議会 要点録

開催日時：平成26年10月31日(金)午後7時～9時00分

開催場所：安芸高田市民文化センター

(クリスタルアージュ 4階402研修室)

出席者	<p>■審議会委員（敬称略）</p> <p>平田 武幸 吉田町地域振興会連絡協議会 久保野哲也 八千代町振興会連絡協議会 藤井 敏法 美土里町地域運営協議会連合会 用田 正 高宮町地域振興会連絡協議会 富永 道治 甲田町地域振興連合会 正田 建二 向原町地域振興会連絡協議会 吉長 成恭 広島国際大学 高崎 義幸 広島修道大学 山本 優 安芸高田市議会 総務企画常任委員会 児玉 史則 安芸高田市議会 文教厚生常任委員会 大下 正幸 安芸高田市議会 産業建設常任委員会 徳永 彰 安芸高田市医師会（途中参加） 桂 啓介 安芸高田市歯科医師会 近藤 俊樹 広島北部農業協同組合（途中参加） 熊高 一雄 安芸高田市商工会 竹重 博樹 （社福）安芸高田市社会福祉協議会 猪上 優彦 安芸高田市民生委員・児童委員協議会 佐藤 正彦 安芸高田市老人クラブ連合会 岩下 雅俊 安芸高田市PTA連合会（途中参加） 岸本 勇示 安芸北森林組合 森脇 洋平 安芸高田市工業会</p> <p>■事務局</p> <p>武岡 隆文 企画振興部長 山平 修 企画振興部 政策企画課長 宮本 智雄 企画振興部 政策企画課課長補佐 河本 圭司 企画振興部 政策企画課 企画調整係長 森本 貞彦 企画振興部 政策企画課 企画調整係 主査</p>
行政	永井 初男 安芸高田市 教育委員会教育長
欠席者	<p>■審議会委員（敬称略）</p> <p>西名 真一 （公財）安芸高田市地域振興事業団 中田 幸子 安芸高田市ふるさと応援の会 佐々木高美 安芸高田市PTA連合会</p>
傍聴者	6人
会議次第及び資料	<p>会議次第</p> <p>1. 開 会 2. 会長挨拶</p>

	<p>3. 報告事項 (1) 前回ワークショップのまとめについて【資料1】</p> <p>4. 協議事項 (1) 安芸高田市総合計画の基本構想(素案)について【資料2】【資料3】 (2) その他</p> <p>5. 閉 会</p> <p>【資 料】 資料1: ワークショップ結果について 資料2: 第2次安芸高田市総合計画基本構想(案) 資料3: 安芸高田市の将来像の説明</p>
会 議 概 要	
事務局	<p>1. 開 会</p> <p>本日は、ご多忙の中にも関わりませずお集まりいただきありがとうございました。</p> <p>第4回安芸高田市総合計画審議会を只今より開催させていただきたいと思っております。本日の会議には、委員24名中出席者18名、欠席者3名、遅れて参加される方が3名いらっしゃるようです。したがって、安芸高田市総合計画審議会条例第5条第2項の規定によりまして半数以上の出席をいただいておりますので、会議の成立・定足数に達していることをご報告申し上げます。また、今回も要点録を作成いたしますので、本会議について録音をさせていただくことをご了承ください。それでは、ただいまから次第に沿って会議を進めさせていただきます。最初に会長からご挨拶をいただきたいと思っております。</p>
会 長	<p>2. 会長挨拶</p> <p>こんばんは。第4回審議会のご案内をいたしましたところ、本日は、月締めというところ、ご多用にもかかわらず、ご出席、本当にありがとうございます。</p> <p>本日は、大きなポイントとなります事項についてご審議いただくこととなりますが、よろしくお願いたします。また、毎回9時を回るという遅い時間までのご審議となっておりますが、進行につきましてご協力をお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>まず、本日の資料でございますが、事前に送付しております資料をご持参いただいていると思っております。別に机の上に資料を配布しています。会議次第、追加として資料3、そして基本構想素案の3ページ目でございますが、この部分の差し替え資料でございます。ご確認ください。</p> <p>それでは、審議会条例第4条第3項の規定によりまして、会議の議長を会長をお願いいたします。</p>
会 長	<p>3. 報告事項</p> <p>それでは始めさせていただきます。</p> <p>事務局から資料に沿って説明がございますが、資料は事前送付させていただいておりますので、既に一読されていることを前提に進めさせていただきますので、ご了承ください。</p> <p>それでは、次第3の報告事項に移ります。(1)の前回ワークショップのまとめについて、事務局より報告をお願いします。</p>
事務局	<p>(1)前回ワークショップのまとめについて【資料1】</p> <p>前回の審議会では、ワークショップという形でグループ別にご協議いただきました。ワークショップにつきましては、コンサルとして参加いただいておりますエブリプランにより、進行、まとめをいただいております。ワークショップ終了後にも、各グループのまとめをいただきましたが、グループ内での具体的な内容を、資料1に整理させていただいております。ご一読いただいていると思います。具体的なお考えやアイディア等につきましては、基本構想というよりは、今後の基本計画の方に多くは盛り込んでいくこととなるかと思っております。以上です。</p>

会 長	<p>ありがとうございました。 このことにつきまして、皆様からご意見等ございましたらお願いします。</p>
委 員	<p>よくまとめていただいております。意見等はございません。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。 一般的に、総合計画の審議会の中でワークショップをするということはあまりなく、私も初めての経験でした。皆さんの熱意あるご議論を、テーブルを分けてテーマを絞って行っていただきました。事務局からもございましたように、具体的なご意見等につきましては、これから戦略の部分に核論として活かすように吸収したいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。 ほかにご覧いませんか。</p>
委 員	<p>ありません。</p>
会 長	<p>それでは次に移ります。 次第の4番。協議事項でございます。安芸高田市総合計画基本構想の素案について、資料2をもちまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>4. 協議事項 (1)安芸高田市総合計画の基本構想(素案)について【資料2】 それでは、資料2をご覧ください。 <資料2及び3ページの差し替え資料により説明></p>
会 長	<p>ありがとうございました。 後程ご審議をいただきますが、序論と基本構想の部分を分けてご審議いただければと思います。 その前に、今回ご提案させていただいております、19ページの将来像と基本理念について、私の方から解説をさせていただきたいと思っております。 別紙の資料3に、「人がつながる田園都市 安芸高田」の解説を書いております。 <資料3により説明> まずは、序論の部分につきまして、何かご意見はございませんでしょうか。</p>
委 員	<p>17ページの「安芸高田市の強みと課題」の部分の強みの「③農業が持つ可能性」とありますが、ここに「林業」も入れるべきではないでしょうか。</p>
会 長	<p>その通りですね。 先般、県主催のあるシンポジウムのコーディネーターを務めましたが、そこで、岡山県の地域会社の紹介がありました。そこで、間伐材を使ってフローリングの材料を作り、それが非常に売れているということでした。IターンUターン等で若者が帰り、農業への担い手も多いのですが、林業の魅力も若者の中では捉えられてきているようです。1次産業としての林業の可能性も入れていければと思います。 事務局の方、修正をよろしくお願いします。 そのほか、序論の部分でお気付きの点はございませんでしょうか。</p>
委 員	<p>非常に全体の流れがよくなって、わかりやすくなったと思います。ストーリーがよくなり、どなたでもわかりやすくなったと思います。文章の中にも、背景と課題というものが出て、流れが統一されているので良いと思いました。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。非常に勇気づけられるご意見でした。</p>
委 員	<p>前回の計画の振り返りのところですが、人口35,000人を目標にしている、未達に終わっているわけですね。結局、総合計画というものは、一般会計の予算の振り分けの指針になっていると思います。10年間の例えば、農業なり、観光振興なり、あるいは福祉とか教育とか、そういった分類の中で、この10年間のお金の使われ方が、どこに力を入れてきたのか。日本国内を見ても、人口が水平に保たれたり、あるいは増えた市町もあるわけですね。そういったところの10年間のお金の使い道のベンチワークなども、やってみると次の総合計画の策定の仕方も見えてくる部分があるのではないのでしょうか。</p>
会 長	<p>おっしゃる通りだと思います。 そのことを、序論や基本構想の中に書くかどうかは別として、検証という意味では大事なポイントであると思います。人口問題には、財政というものは、いつの時代でも必ず具体的にくっついてくるものです。結局、公共というものは、財政を豊かにすることも大切ですが、配分が大事です。予算枠の中で、どういう風に優先的に予算配分していくのか大事です。</p>

	<p>ベンチワークについては、ほかの自治体のデータがないとできないと思いますが、同じ規模くらいの市町のデータが、公的な自治省あたりの二次データで出されているのでしょうか。事務局で整理できますか。</p> <p>コンサルさんの方で、データをお持ちでしょうか。</p>
エブリプラン	<p>各市町村の、大きな費目であれば必ず自治体で公表していますので、例えば人口3万人規模であるとか、類似の自治体のデータを比較してみるとということは、可能であると思います。</p> <p>ただ一つ思うのは、お金をかけたから絶対に効果が出ているかということ、そうでもない部分もあって、効果的なお金の使い方をしているかどうかということの視点も、必要なかと思えます。ある自治体が、教育の部分にたくさんお金をかけていて、その町の人口が増えていた時、お金をかけたから人口が増えたという相関が、確実にあるとも言い切れないと思います。その辺は、考えないといけない部分だとは思いますが。</p>
会 長	<p>一つのパラメーターとしての、お金ということですよ。</p> <p>例えば、公的サービスを指定管理に出すと、予算は下がったけれども、質は上がったたり、住民の満足度が上がったという例もあるかも知れません。</p> <p>いずれにしても、自治体の運営は財政が関係してくるので、そういうデータも参考にしなければいけないかも知れません。ただ、そのバックデータを、総合計画の中に織り込む必要は、私はないのかと思えます。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>そういった意味ではございません。検証するうえで、そういったデータも見ながらしたらどうかということです。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。パラメーターとして、予算を比較してみるということも、効果検証の上では必要だと思います。</p> <p>その他ございますか。</p>
委 員	<p>空き家対策、空き家バンクの記述がありました。少し関連して、「婚活」ということをどこかに記述するべきではないでしょうか。結婚しない若者が増えてきている中、当然子どもも増えてきません。市長の施策の一つとしても婚活を推進されています。どこかに記述があればと思います。</p>
委 員	<p>少し序論の部分から、外れてきているのではないのでしょうか。序論というのは、ガイドラインであって、私の考えでは、基本計画の中に入った時に、具体的にお金の問題であるとか、今言われたことなどを盛り込んでいけばいいのだと思います。大変失礼な言い方ですが、序論のところ議論することではないと思うのですが。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今は、序論という枠組みの中で議論いただいていますので、よろしく願いいたします。</p> <p>決して、そのことが重要でないということではございませんので、よろしく願いいたします。</p> <p>2ページの三角形のところを見ていただければと思うのですが、基本構想、基本計画、実施計画というものがあります。基本計画とか実施計画の部分で、婚活なども入ってまいります。</p> <p>序論の部分について、ほかに何かございますか。</p> <p>ないようですので、第2章の基本構想の部分でお気付きの点がありましたら、ご発言ください。</p>
委 員	<p>流れ的には素晴らしいと思います。</p> <p>「人がつながる田園都市 安芸高田」という将来像は、どんなイメージからの発想なのだろうかと考えていましたが、先ほど座長からきちっと説明がありました。このことはぜひとも、市民の皆様にも、そのイメージや意味をきちっと伝えなければいけないと思います。</p> <p>3点ほど考えてきました。20ページの目標人口の部分です。人口問題、少子高齢化については、大変大きな問題です。もっとその重要性を示すべきではないかと思えます。</p> <p>例えば、「総合計画を実現させるために、人口減少の歯止め対策・少子高齢化対策の推進が必要不可欠です。ここに、10年先の目標を掲げて人口問題に取り組んでいきます。」ということ、記述に加えたらどうかということが1点です。</p> <p>それから、25ページ。政策目標の8と9です。1から7までは非常にいい流れで来ています。政策目標8のところは、これまで取り組んできたことは序論のところに書いてあるので、例えば、「本市の均衡ある発展と住民福祉の向上を目指し、『住民と行政の協働のまちづくり』を基盤とした行政活動を推し進めます。そして、地域振興組織の取り組みによる『自らの地域は自らの手で』とした自主的活動を通して、ふれ合いと活気ある地域コミュニティづくりを推進します。」という風にはっきりと分けられるべきだと思います。</p> <p>そして政策目標9の産業の活性化の部分ですが、これは特に強調していただきたいのですが、私の案は、「更に」の上の部分ですが、「本市の経済を支える主要産業である農業や製造業の活性化に取り組めます。また、光ネットワークをより充実させ、IT産業やサテライトオフィスなど新たな産業の誘致と支援を積極的に行っていきます。」という風に整理されたら、1からの流れに合うと思</p>

	<p>います。やってきたことは、既に序論で述べてあるわけです。産業、特に農業や林業も活性化していかなければならないわけですから、そういう整理をすべきかと思います。</p>
会 長	<p>ファイティングポーズを示せということですね。 ありがとうございます。メリハリのある文章の方が、さわやかでやる気が見えるといえますか、本当にブラッシュアップしていただいております。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>前回ワークショップで、グループごとに議論して、そのことを将来構想の中に取り入れようと思いました。その議論したことが、23 ページ以降の政策の中に反映されていないと私は思うのですが。雇用の創出であるとか、人口の問題であるとかいろんな議論をいたしました。全然それが載っていないと思います。</p> <p>それから、23 ページの政策目標 1 に、「市町村運営有償運送」という言葉がありますが、安芸高田市には村はありません。</p> <p>安芸高田市の課題が、明確にこの中に出てくるべきではないでしょうか。本市の特徴が出ていない、金太郎飴のような構想になっているのではないかというのが、私の個人的な感想です。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。 23 ページの「市町村運営有償運送」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>13 ページと 23 ページに出てまいります、「市町村運営有償運送」につきまして、村という表現があるがどうなのかというご意見でした。</p> <p>「市町村運営有償運送」といいますのは、川根を走っております「もやい便」と智教寺を走っております「友愛とろっこ便」のことを指します。いわゆる、交通空白地と呼ばれる公共の交通が全くない地域に、地元で資格を取っていただき地元で運行をしていただくという、制度の名称です。説明が必要な言葉だと思いますので、欄外あたりに説明文を加えさせていただこうと思います。</p>
会 長	<p>いわゆる、行政用語ということですね。 いずれか若いページに、説明書きをお願いします。</p>
事務局	<p>もう一点、前回のワークショップでの議論の中身が、反映されていないのではないかとご意見でした。最初にも説明しましたように、この基本構想の部分につきましては、10 年間変わらないものでございます。あまり具体的な取り組みや、アイデア等を基本構想に載せるということは、変更もできませんし、コンクリートされてしまうということもでございます。今後、この基本構想の方向性を持って、具体的な基本計画というものを策定していくこととなります。そこで、基本構想の中の政策目標を一つ一つの幅を広げて、具体的な取組等をうたっていくこととなります。</p> <p>これまでの市民アンケートや、グループ討議、個別のヒヤリング等でいただいたご意見等につきましては、今後の基本計画や実施計画の中に反映していきたいと考えています。</p>
委 員	<p>現在の最も大きな課題は、人口減少対策だと思います。人口減少の歯止め対策を行い、人口増へ向けて取り組むべき 10 年になるであろうというのが、私の意見でございます。答弁は結構です。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>人口について、どういう表現をするかということですが、基本構想の初めに、人口目標を掲げて共通の命題としているわけです。序論の 2 番目にも社会情勢の変化のところ、人口減少のことは出していて、ウェートがあるという書きぶりにしたつもりではあるのですが、その辺のところをご理解いただければと思います。先ほどから事務局も言っておりますように、具体的に出示されたご意見を、基本構想に入れてしまうと、少しおかしなことになってしまいます。大きな項目で立ち上げておいて、具体的な計画を刻んでいくという立てりになっていますので、この点につきましてはご理解いただきたいと思います。</p> <p>アンケートの中身を少し思い出していただきたいのですが、私が田園都市という言葉を持ち出したのは、若い子から安芸高田市に「街がほしいよね」という意見がありました。でも水も山もきれいだということです。例えばそのことは、基本構想の理念の中で田園都市ということで、大枠のイメージがそこで吸収されます。しかし、ここに映画館がほしいということになると、別の書きぶりになってくるということです。</p> <p>今回のこの審議会の使命は、大綱を書いていくというところにとどめるといえますか、それが役目だと思います。</p> <p>その他ご意見はありませんでしょうか。</p>
委 員	<p>合併後 10 年が経過し、その間の計画期間が終了し、次の計画へということですので、前回計画の振り返りの中に、旧町ごとの将来的な課題や発展すべき方向が少しでも入るべきではないかと思えます。人口推計や高齢化率も旧町によって違います。そういうことを入れていけば、市民の方ももっと読みやすいものになるのではないかと思います。</p>
会 長	<p>旧町の枠組みでもって、人がつながるか、32 の地域振興組織でもってつながるかということもありますが、序論のところ、旧町ごとの記述を入れるということは、非常にデリケートな問題でもあると思います。旧町の文化も随分違うことは理解しますし、その地域文化を活かしていかなけれ</p>

	<p>ばならないことも理解します。6町あるいは32の地域振興組織が持つ多様な価値観が、一丸となって同じ方向を向くということはこの基本構想では表現しようとしています。それぞれ核論に落とし込んだ時に、そこで活かさなければいけないと思います。この基本構想のところでは、6町をそれぞれ割って、記述しなくてもいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>今の意見は非常に大切なことだと私も思います。</p> <p>ただ、ここに記述することではないと思います。安芸高田市の各町は、それぞれ特性があります。各町のガイドラインといいますか、この町は「こういうことで頑張ってくださいね」という風に、これは地域振興組織で提案していき、その集大成として安芸高田市があるということになります。このことは、また別な場所で議論しなくてはいけないと思います。各町の個性を活かしていこうということは、大切なことです。市民にも伝わりやすいと思いますので、行政としてどこかの場面で必ずやっていただきたいと思います。</p>
会長	<p>都市と田園が結婚して田園都市となるという風に、他の町がつながって安芸高田市になるわけです。しかし、それぞれの文化が自立してないと、うまくいかないということです。</p> <p>実は私、今日は、今晚眠れるかどうかに関わることがありまして、この基本構想の将来像の「人がつながる田園都市 安芸高田」が、皆様にご承認いただかないと、今晚眠れないのです。拍手をもってご承認の意思を確認させていただければと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
委員	<拍手多数>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>これで今晚も眠れます。本当は、第2弾、第3弾と用意したかったのですが、これ一本出たら、あとが出なくなりました。</p>
委員	<p>2点ほどお願いします。</p> <p>「自助・共助・公助」という言葉が何回も出てくるのですが、公助の意味を一般的にとらえたら、税金を使って助成しますよという風にもとれるのですが、これは財政的な公助とか、政策的な公助ととらえるのか、少し説明をいただきたいと思います。</p> <p>もう一点は、地域資源の活用についての必要性は、はたくさん書いてあるのですが、安芸高田市の美しい自然も資源だと思います。その自然資源を活用していくという記述がないと思います。もっと自然資源の活用について、記述があるべきだと思います。</p>
会長	<p>「地域資源が活かせるまちづくりへの挑戦」の中に、安芸高田の宝として自然という表現がありますが。</p>
委員	<p>24ページの「未来につなぐ自然環境」のところに、具体的な表現があればいいと思うのですが。</p>
会長	<p>わかりました。</p> <p>最初の「自助・共助・公助」のことについてですが、私の思いを説明させていただきます。</p> <p>ハウードの田園都市構想の話をしたんですが、福祉のデイサービスとかリハビリとか高齢化社会に向けての取り組みも、実は経済成長戦略の一つで、日本も遅ればせながらやってきました。田園都市もそういう形で、「自助・共助」という形にしています。「公助」については、ここでは地域ごとのコミュニティ活動、安芸高田市でいえば32の地域振興組織が事業を行って行って、そこで生み出した利益を、地域のコミュニティに循環するというシステムをこの田園都市は持っているのです。具体的には、土地の管理などで2億円の利益を生み出し、そういうことで自助的な公助をやっているという例もあります。つまり、地方自治体の公金をそこにつぎ込むという考え方ではなくて、そこでお金の地産地消をしているのです。</p> <p>32の地域振興組織が、安芸高田市では活動していますが、非常にいい組織なんですけど、本当の意味で活発化されていないという風に、個人的には思っています。この10年間で活発化され、コミュニティ活動を応援するような補助金に回すような利益を生む事業を起こしてほしいのです。そういう構図は先行事例があるので、これからの実施計画の中で勉強会をして、私も喜んで参加しますが、新しい取り組みを進め、新しい意味での公助につなげていければと思います。この田園都市の構図の中では、そういう公助のことを言っているのです。説明が少し足りませんでしたが、田園都市の中には、こういう新しい「公」という考え方もあるのです。机上の空論のようで恐縮なんですけど、行政が行う「公助」ということばかりではないということ、ご理解いただきたいと思います。</p>
委員	<p>26ページの②健全な財政運営と行政改革の推進のところの記述で、「次世代に過大な負担をかけることのないよう」とありますが、私の性格がひねくれているのでもありますが、「過少な負担ならかけてもいいのか」ということにもなるのではないのでしょうか。今、安芸高田市も大きな借金を抱えています。今日も日銀が金融緩和といいジャブジャブお金を出しています。将来に非常に不安があります。更に、次世代に負担をかけるようなことがあっては、ならないのではないのでしょうか。「過大な」という表現をとってはいかがでしょう。今の若い方は、その自治体の市税や介護料とか国保税といったものを、見比べて住む場所を決めているという時代ですので、これ以上の負担があると、若い人は見向きもしないようなまちになってしまいます。ぜひ「過大な」という表現はとって</p>

	<p>いただきたいと思います。</p> <p>それから、目標人口のところでお話がありました、1,200人増やすというところで、実際のターゲットはどこにおくのか。子育て世代を増やそうとするのか、あるいは60過ぎたUターンの方を狙おうとするのか、もう少し具体性がないと、政策を打つにしても、選択と集中ということもありますが、集中というところがぼやけてくるのではないのでしょうか。</p>
会 長	<p>私ばかり答弁してもいけないのですが、「過大な」という部分は、おっしゃる通りなので校正させていただきます。</p> <p>目標人口の1,200人のところですが、私の後輩にもなります、島根県中山間地域研究センターの藤山君が出したプログラムで、実は定住ではなく定常人口、10年先にそこに住む人口を確保できるかということが、そこに書いてあるわけですし、年齢的には働き盛りの子ずれの家族と、これからこの地で赤ちゃんを産んで育てようという夫婦と、定年を終え、この地で農業でもしようかという夫婦とを例として挙げているわけです。「1,200増やせ」と言われると、簡単ではないと思いますが、こういう風に説明があると、現実味も出てくるのではないのでしょうか。おそらく総合計画で、こういう表現をしたのは、初めてではないのでしょうか。</p> <p>総合計画策定のキックオフ的に開催しました、まちづくりシンポジウムでも、僭越ながら私から紹介させていただいたことがきっかけでもあります、こういう記述は、ほかにはあまり例を見たことがありません。これくらい具体的に示したものはないと思います。</p> <p>個人的には納得できる記述であると思っております、この位の表現でお許しいただけないでしょうか。</p>
委 員	<p>20代から40代までの若い女性が、特に減るといわれています。これには、そういう女性のことが全く出てきていません。ここらのターゲットが、変わってくることによって、政策も変わってくるのだと思います。</p>
会 長	<p>先ほどの空き家や婚活のことと同様に、ここで具体的に扱うことは難しいなというのが、本音です。</p> <p>ほかにはいかがでしょうか。</p> <p>本日の議論は大変重要な部分であります。会長・副会長に下駄を預けていただき、事務局とともに校正し、修正していきたいと思っております、ご一任いただけますでしょうか。</p>
委 員	<p>一任。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日ご発言があった方には、修正の際、再度ご確認させていただく場合もあろうかと思っておりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、協議事項の(2)その他に移ります。事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(2)その他</p> <p>本日の審議会開催案内を送付した際、前回の審議会要点録も同封させていただきました。内容に不備等ございませんでしたでしょうか。</p>
会 長	<p>委員の皆さん、いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>特になし。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは、当日の資料とともに、市ホームページにて、公表させていただきます。</p> <p>それから、その他の2点目ということでもよろしいでしょうか。</p>
会 長	<p>はい、どうぞ。</p>
事務局	<p>次回の審議会の件ですが、本日の開催案内の中で、11月5日に次回を開催したい旨の内容を記述しておりました。本日の審議が長引くことも予想されましたので、引き続き5日に審議をといる風にも思っておりましたが、いかがいたしましょう。</p>
会 長	<p>本日、委員の皆様方には、概略ご理解をいただき、修正についてもご一任いただきました。この後、パブリックコメントをホームページに挙げて、市民の方のご意見を頂戴することとなります。前回もありましたように、若い高校生あたりの意見も聞きたいということもありましたので、学校の先生を通してお願いもしようと思っております。その後、審議会を開催し、答申の案も議論いただければと思いますので、11月5日の審議会はなしということではいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>異議なし。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは次回の審議会は、11月18日とさせていただきます、パブリックコメントのご報告、そして答申案の協議ということにさせていただきます。</p> <p>その他事務局より何かございますか。</p>

事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、11月5日の審議会は行わないということでよろしく申し上げます。次回は11月18日に第5回の審議会を開催するというので、改めてご案内させていただきます。</p> <p>また、会長よりパブリックコメントについての説明もございましたが、これから、この素案について市のホームページ上に公開し、市民の皆様からのご意見をいただこうと思います。次回審議会では、パブリックコメントの内容についてご報告できると思いますが、ギリギリまでパブリックコメントを実施しておりますので、資料にまとめ事前に送付するというにはなりませんので、ご了承ください。</p>
会 長	<p>それでは、長時間にわたりご審議ありがとうございました。</p> <p>進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>閉会にあたりまして、副会長よりご挨拶をお願いします。</p>
副会長	<p>大変熱心にご審議いただきまして、ありがとうございました。安芸高田市の10年後を見据えた、構想が皆様方の頭の中に浮かんできて、だんだんと固まりつつあるように感じました。大変ありがとうございました。</p> <p>お帰り際には、小雨も降っているようです。お車の運転等、十分ご注意なさってお帰りください。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p>
事務局	<p>以上をもちまして、本日の審議会を終了させていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>